

【授業科目】統合実習 Integration Nursing Practicum

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
看護系教員	4 年次 前 期	必 修	2	9 0	実 習	あり	巻末 掲載	否
授業概要 (内容と進 め方) 及び 課題に対す るフィードバック 方法	授業概要／既習の知識と技術を統合・応用し、さまざまな看護場面における看護実践能力を高める。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。提出された課題について、全体の総評コメントを掲示にて公開する。 ＊実務経験を持つ教員が授業を進める。							
実務経験に 関する授業 内容	看護師の臨床経験を持つ教員が、看護師として必要な看護の知識・技術について、学生とともに実践の現場にて指導を行う科目である。							
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	①今までの学習を基礎に自らの実習テーマ・課題を見出すことができる。 ②複数の対象者のライフプロセスの連続性、看護活動の連続性を理解し、説明することができる。 ③複数の対象者に応じた看護を実践できる。 ④看護者としての責任と倫理をわきまえ、自律して行動できる。 ⑤多様な専門職との連携の実際を知り、その中での看護の役割を理解し述べることができる。 ⑥看護組織の一員として看護実践に参加し、看護チーム体制によるケア提供の実際を学び、看護者としての役割や行動のあり方を述べることができる。							
時間外学習 に必要な 内容・時間	※詳細については、実習要項を参照してください。							
授業計画	・実習期間は、令和 7 年 4 月 28 日～令和 7 年 5 月 16 日のうち 10 日間 ・実習時間は、原則として、8：30～16：30 ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時配布資料を参照してください。							助教以上の 看護系教員
評価方法 評価基準	※詳細については、実習要項を参照してください。							
学生への 助言等	本実習は、基礎、成人、老年、小児、母性、精神、在宅、地域看護学で学んだ既習の知識・技術や自己学習を生かして、考えながら、積極的に学ばれるよう期待したい。							